

## 所報発刊にあたって

田川郡教育研究所 所長 長 野 修

このたび、所報を発刊する運びとなりました。日頃よりご支援・ご協力を賜っています皆様に、心より感謝申し上げます。

昨年度も福岡県および筑豊地区において、多くの実践発表会等が開催されました。田川郡からも多くの実践発表者が参加し、それぞれの成果を堂々と発表されました。どの会場においても、活発な質疑応答や意見交換が行われ、参加者にとって大変有意義な機会となりました。

一方、「ふくおか教育論文」については、例年に比べて応募数が少なかったものの、提出された論文はいずれも質の高い内容であり、田川郡からも貴重な実践がしっかりと形にされていました。「田川郡教育研究所論文」には引き続き多数の応募があり、各校での実践の成果が着実に蓄積されていることを実感いたしました。

また、小・中学校における教科等部会では、日々の授業実践をもとに、具体的な取組の振り返りと成果の整理がなされました。これらの実践内容の一部は本所報にも掲載しておりますので、ぜひご一読いただき、今後の教育活動の参考としていただければ幸いです。

いずれの取組においても、日々の実践を省察し、他者と共有し、次につなげていくことが求められます。そのためには、授業研究や研修会への積極的な参加とともに、校内での連携や校長先生をはじめとする周囲の理解と支援が不可欠です。働き方改革の流れの中で時間的な制約もあるかとは思いますが、教育の質をさらに高めていけることを願っております。

最後に、当教育研究所は、今後も現場の先生方が直面する教育課題の解決に向け、さまざまな事業を通して支援を続けてまいります。田川郡の教職員一人ひとりの知恵と力を結集し、田川郡の教育をさらに前進させていくために、引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 就任の挨拶

田川郡教育研究所 副所長兼書記

糸田町立糸田小学校 校長 藤 田 昭 介

令和7年度、田川郡教育研究所副所長を拝命しました糸田小学校の藤田です。本研究所には私自身も若年の頃大変お世話になるとともに、多くの勉強をさせて頂きました。

現場では若年教員が増加してきており、人材育成が急務となっています。微力ではありますが、これまでの経験を生かし、田川郡の教育の発展に努めてまいります。

本年度も本研究所へのご支援・ご協力をお願いします。

## 就任の挨拶

田川郡教育研究所 副所長兼幹事

添田町立添田中学校 校長 長 畑 理 恵

学習指導要領では、「2030年を見据え、予測困難な時代を生きる子供たちに必要な資質・能力を育てる学校教育の実現」を目指していますが、新学習指導要領までの折り返しの時期になり、教育への熱い思いを持った先生方の指導・助言・伴走の姿は、理想通りに変わってきているのでしょうか？今年度も研究所にかかわらせていただくことになりましたので、郡の教育の発展、教員の人材育成のために、一生懸命に努力してまいります。本年度もご支援・ご協力をお願いいたします。

# 学力向上実践校の紹介【義務教育学校】

香春町立香春思永館

## 1 学校教育目標

母校やふるさとを愛し、自ら学ぼうとする意欲を持った子どもの育成

## 2 研究主題

「義務教育9年間で確かな資質・能力を育む授業の創造」  
～教科担任制のシステムづくりと9年間を見通した「協働的な学び」の工夫を通して～

香春町では、2つの中学校と4つの小学校が合併し、令和3年4月に9年制の義務教育学校「香春思永館」が開校した。翌令和4年度より福岡県教育委員会の重点課題研究指定を受け、研究を進め教育活動に取り組んできた。義務教育段階の9年間で、我々はどのような資質・能力を育てていくのか、その力を育むために1年次の成果と課題や児童生徒の実態から、2年次は副主題を「教科担任制のシステムづくりと9年間を見通した『協働的な学び』の工夫を通して」に変更し、教科担任制をどのように生かし、授業づくりを行うのかについて、前期課程での教科担任制の導入学年や教科を見直し、システムづくりを行った。

## 3 研究の概要

9年間を通して目指す資質・能力を育成するためには、校種を超えた連携を行い、双方の実態や課題を共有して、具体的な指導方法や、前後期を貫く教育課程について検討改善することが重要である。その方策として、1つは、教科担任制の導入に伴うカリキュラム編成や「教科担任制のシステムづくり」を行い、もう1つは、前後期課程合同の教科別の部会を設け「協働的な学び（一人一人のこだわりグループや全体で共有しながら、考えを認め合ったり、新たな考えを得たり、考えを深めたりする互恵的な学び）」に視点を当てた授業研究を行った。

研究構想図



## 4 教科担任制のシステムづくりと9年間を見通した「協働的な学び」の工夫

前後期課程（小・中学校）の9年間を見通して、学校教育目標として目指すべき資質・能力を重点化し「システムづくり」と「指導方法等」の2つの視点からの手立てをとり、児童生徒の確かな資質・能力を育む。

視点① 教科担任制のシステムづくり

- ・教科担任制に伴うカリキュラム編成・複数の教師による共同評価のあり方
- ・各種学力調査やアンケートによる取組の改善等

視点② 9年間を見通した「協働的な学び」の工夫

- ・前後期課程合同の教科別授業研修
- ・「協働的な学び」に視点をあてた「思永館スタンダード」の具体化

## 5 研究の成果

### 【授業の質の向上】

現8年生は、6年生時に、「国語科」「算数科」「社会科」「外国語科」の交換授業や「理科」の専科授業を経験している学年である。教科担任制を初めて経験した児童は「学習の進度がどのクラスもそろっている」や「勉強が分かりやすくなった」と肯定的な記述が見られた。教科担任制を経験した現8年生と、教科担任制を経験していない現9年生が行った標準学力調査の結果は、現8年生は国語科・算数科において学力の上昇が見られた。

昨年度より取り組んでいる、前後期課程の接続を意識した「前後期教科部会」では、前後期課程の指導方法や学習内容の系統を意識しながら部会を行った。全職員に行った教科部会についてのアンケートでは「担当する教科について専門性の向上につながっている。」に対して「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と回答した教員の割合は、83.7%であった。

教科担任制を行っている現5・6年生に実施したアンケートの結果「教科担任制があることは良いと思う」に対して、95%の児童が「よい」と感じている。

### 【前期課程から後期課程へのスムーズな接続】

教科担任制を1年間経験した現8年生と、教科担任制を2年間経験した現7年生に「前期課程で行った教科担任制について」のアンケートを実施した結果、教科担任制を2年間経験した現7年生の方が良さを感じている。乗り入れ授業を2年間経験することで、後期課程でどのような学習をするのかの見通しをもつことができたからではないかと考える。

さらに、6年生の3月に「数学科」と「外国語科」の前倒し授業を行うことで、後期の授業スタイルや課題（家庭学習）について、知ることができる良い機会となっている。

## 6 今後の課題

### 【教科担任制のシステムづくりの見直し「教育課程部会」】

全職員に行ったアンケート「教科担任制の成果と課題について」では、時間割の調整が大変であるという意見が多かった。これは、1学級に複数の教員が関わる乗り入れ授業や交換授業、専科授業を行うことにより、時間割が固定されているためである。さらに、行事が入るたびに調整が再度必要となることが、担任の負担感を大きくしている。

今後は、前期後期の校務運営委員会で事前調整を行い、再調整の負担ができるだけ少なくなるようにしていく。

### 【教科担任制「乗り入れ授業」の工夫】

乗り入れ授業は、後期課程での授業時数バランスなどを考慮し、科目を決定している。児童にとっては後期課程の授業スタイルに慣れることができると、肯定的な意見であるが、教師にとっては負担感を感じている。それは、発達段階の違いにより、授業の展開が難しいことや前後期の校時のズレ、担任との情報共有する時間がないことである。今年、1・3・5校時の開始時刻をそろえることにより、前後期での校時のズレを昨年度より解消しつつあるが、行事などで校時のズレが生じている現状である。今後は、通年で行っている乗り入れ授業を、効果的な単元において短期間で行ったり、学校行事（運動会や合唱コンクールなど）と関連させた単元構成を組んだりし負担軽減を行いつつ、効果的な取組にしていきたい。

## R6 教科等部会（小学校）活動報告

### 【国語部会】 校長 藤田 昭介

第1回 実践発表「叙述を基に自分の考えを形成する第4学年国語科学習指導」  
～単元を貫く問いを位置づけた授業づくりを通して～  
発表者 福智町立市場小学校 教諭 西村 奏音  
第2回 授業研修会授業者  
川崎町立川崎東小学校 教諭 平井 武道  
第3学年 国語科 単元 しょうかいする文章を書き、感想を伝え合おう  
教材 「わたしの学校のよいところ」  
第3回 講話 「思考力・判断力・表現力等を育成する国語科『読むこと』について」  
講師 筑豊教育事務所 指導主事 中原正文先生

### 【社会科部会】 校長 高上 克也

第1回 年間研修計画作成 組織づくり  
社会科の教科の特性と地域教材について  
第2回 福岡県小学校社会科教育研究大会参加  
（授業者）川崎町立池尻小学校  
○3年 緒方航輝 教諭 ○4年 井村昂 教諭  
○5年 平島未裕 講師 ○6年 四郎丸華有 教諭  
第3回 講話及び実践交流  
（講師）筑豊教育事務所 中村真悟 指導主事  
（講話）社会科学習の考え方、学習問題づくり  
〔交流〕地域教材を取り入れた社会科授業実践

### 【算数部会】 校長 長尾 公仁

第1回 組織作り 活動計画の作成  
各学年の実践交流  
第2回 研究発表会参加（いずれかに参加）  
○福岡県小学校算数教育研究大会（11/22）  
○筑豊地区算数教育研究大会（11/29）  
○真崎小学校授業研修会（12/4）  
授業者 真崎小学校 伊藤 匠 先生  
第3回 実践報告 各学年の実践交流  
報告者 真崎小学校 伊藤 匠 先生

### 【理科部会】 校長 永田 雅士

第1回 研究グループづくり 活動計画作成  
第2回 講師招聘による実験講習  
「理科における実験器具を活用した実験の実際」(株)内田洋行  
・熱伝導・食塩と水の温度の関係など  
第3回 実践交流及び実験講習総括  
・研究経過報告(グループ交流)  
・実践発表 伊方小学校 長尾 創太 教諭

**【生活科・総合的な学習の時間部会】**

校長 益田 茂

- Ⅰ 組織作りと研修計画  
研修：「英彦山青年の家  
One Health 出前講座について」  
講師 英彦山青年の家 社会教育主事  
後藤 大輝 先生
- Ⅱ 講師招聘による研修会  
研修：「味噌づくりワークショップ」  
講師：みそラボ代表 安藤 久代先生
- Ⅲ 実践交流・情報交換・研究のまとめ

**【音楽科部会】**

校長 太田 優子

- 第1回 組織作りと年間活動計画と情報交換  
ミニ研修(リコーダー演奏)
- 第2回 研修(講話・演習)  
「デジタル教科書の効果的な使い方」  
講師:教育出版 丸山健太氏、川崎凌央氏
- 第3回 10月18日(金)授業公開  
1年「うたでまねっこ」小西美音良 教諭  
県重点課題研究発表会(川崎小学校)への参加
- 第4回 実践交流会及び年間のまとめ  
☆福岡県小学校音楽教育研究大会 参加

**【図画工作科部会】**

校長 小西 良平

- 6月 組織づくりと活動計画作成  
研究員の選出
- 7月 筑豊地区小学校図画工作実技研修会  
～物語の絵の指導～ 原 保生先生  
「やみとひかりの美術館」鑑賞会  
於：田川市美術館
- 11月 県小学校図画工作教育研究大会  
県小児童画展田川郡審査(真崎小)
- 12月 県小児童画展筑豊地区審査(下境小)
- 1月 実践交流会と本年度のまとめ

**【道徳科部会】**

校長 長畑 理恵

- 第1回部会 6月24日(今任小)
  - ・組織作り
  - ・講話 田川市教育委員会 満倉 圭 先生
- 第2回部会 11月22日(大任小)
  - ・地区別道徳教育研究大会への参加
- 第3回部会 1月21日(今任小)
  - ・研究所紀要原稿について(協議)
  - ・実践交流及び情報交換

**【体育部会】**

校長 中瀬 博之

- 第1回部会 6月4日(中元寺小)  
組織づくりと年間計画及び3部会の情報交換
- 第2回部会 9月10日(中元寺小)  
JFAの講師によるサッカー学習の実技研修
- 第3回部会 12月5日(糸田小)  
授業研 久富 光太郎 教諭
  - ・ボール運動(フラッグフットボール)
  - 指導助言 糸田小学校 石堂 昌彦 元校長
- 第4回部会 1月21日(中元寺小)  
本年度のまとめと次年度に向けて

**【特別活動部会】**

校長 相緒 英樹

- 第1回 6月24日(伊方小学校)
  - ・組織作りと活動計画等
- 第2回 7月30日(伊方小学校)
  - ・模擬学級会と学級会グッズの作成
- 第3回 11月12日(直方市立感田小学校)  
12月10日(直方市立直方東小学校)
  - ・筑豊地区小学特別活動研究会研修会への参加
- 第4回 1月21日(伊方小学校)
  - ・模擬レクリエーションと本年度のまとめ

**【外国語活動・外国語部会】**

校長 茅島 陽子

- 第1回部会 6月24日(月)〈市場小〉
  - ・組織づくりと年間計画、情報交換
- 第2回部会 8月5日(月)〈市場小〉
  - ・「授業づくり研修会」  
講師：筑豊教育事務所 小林明子指導主事
- 第3回部会 1月21日(火)〈市場小〉
  - ・実践発表 市場小 糸長香代子教諭
  - ・模擬授業 香春思永館 岸野未来教諭  
池尻小 山口大介主幹教諭
- 第4回部会 1月29日(水)〈片島小〉
  - ・福岡県小学校外国語教育研究大会への参加



# R6 教科等部会（中学校）活動報告

## 【国語科部会】 校長 荒尾 和幸

- 第1回国語科部会 7月23日
  - ・組織づくり、年間計画作成
- 第2回国語科部会(公開授業) 11月26日
  - ・授業者 梶東 正一郎 先生
  - ・単元 第1学年 書写「文字の大きさと配列」
- JA作文募集及び審査
- 研究のまとめ及び紀要原稿作成
  - ・執筆者 梶東 正一郎 先生

## 【社会科部会】 校長 安藤 志保美

- 第1回部会(7月23日)
  - ・組織づくり
  - ・年間計画の策定
- 第2回部会(公開授業、研究協議:11月5日)
  - ・会場:川崎町立川崎中学校
  - ・授業者:江口 悦正 先生
  - ・単元名:第3学年「私たちの暮らしと経済」
- 研究のまとめ
  - 執筆 土肥 良仁 先生

## 【数学部会】 校長 山中 江利子

- 第1回部会  
7月23日(火) 会場:方城中学校
  - ・研究主題、研修計画作成、活動内容の確認
  - ・研修「思考力・判断力・表現力を問う定期考査問題について」
- 授業研修  
令和6年度福岡県中学校数学教育研究大会(筑豊地区飯塚大会) 11月1日(金)  
会場:飯塚市立小中一貫校飯塚鎮西校

## 【理科部会】 校長 久富 靖剛

- 総会 6月20日 (於 糸田中学校)  
組織づくり、研修計画・作成  
部長 谷川 佑太(川崎中学校)  
研究員 鎌田 季紗(添田中学校)  
研究主題「生きる力」を育む学習指導の研究
- 実験講習会 11月14日(於 糸田中学校)  
講師:株式会社ナリカ  
内容:短時間で効率的に行える実験  
最新の器具を利用した実験方法など

## 【音楽科部会】 校長 荒川 正史

- 第1回部会(7月23日)
  - ・組織、部会計画の策定
- 第2回部会(公開授業:11月25日)
  - ・会場:大任町立大任中学校
  - ・授業者:松下 百璃 先生
  - ・題材:第1学年「ギターの特徴を理解して、仲間と合わせて、表現しよう」
- 研究のまとめ 執筆 田端 幸彦 先生

## 【保健体育科部会】 校長 安部 博智

- 第1回 保健体育部会:7月23日(火)
  - ・組織づくりと年間活動計画の作成
  - ・「体力向上プラン」実践交流
- 第2回 保健体育部会:3月11日(火)
  - ・本年度のまとめと次年度の組織体制
- 部会公開授業研修会:10月29日(火)
  - ・授業者:中村 竜介(香春思永館)
  - ・単元:器械運動(マット運動)

## 【英語科部会】 校長 井上 修一

- 組織、年間計画作成等(7月)
- 実践研究員 川崎中学校 藤川 梨紗 教諭
- 公開授業 令和6年9月26日(木) 川崎中
- 交流 「英語科の授業の実際」について
  - ・デジタル教科書の活用
  - ・ICTの効果的な活用
  - ・英語科の評価の在り方
- 福岡県中学校英語教育研究大会の参加募集

## 【道徳部会】 校長 井上 修一

- 組織、年間計画作成等(7月)
- 実践研究員 大任中学校 谷川 明歩 教諭
- 公開授業 令和6年11月6日(火) 大任中
  - ・主 題 名 いじめへの公正な態度
  - ・内容項目 C-(11)
- 研修「生徒が自分事としてとらえる「道徳科の授業」の在り方」  
講師 福岡県教育庁筑豊教育事務所  
石井 雄二 主任指導主事

## 【特別活動部会】 校長 春永 功次郎

- 第1回部会(7月23日 赤池中学校)
  - ・代表、研究員等組織づくり
- ・年間活動作成
- 福岡県中学校特別活動研究大会京築大会
  - ・10月4日(金)
  - ・フォーユー会館(吉富町)

## 【総合的な学習の時間部会】 校長 安藤 志保美

- 第1回部会(7月23日)
  - ・組織、部会計画の策定
- 研究員 岩村 昌美 先生(赤池中学校)
- 研究主題  
自然環境と防災について考え、自ら命を大切に  
する力を育む総合的な学習の時間

**【美術科部会】 校長 中野 純 孝**

- 総会・第1回研修会（7月 添田中学校）
- ・組織づくり、年間計画作成、交流会
- 第68回福岡県中学校美術教育研究大会（北九州大会）への参加（7月）
- 公開授業研修会（10月 方城中学校）
- ・授業者 星出秀夫 先生「ステンドグラス」
- 第2回研修会（1月 添田中学校）
- ・年間のまとめと今後の計画、作品の交流会
- 第34回福岡県中学校美術展に出展（2月）

**【技術・家庭科部会】 校長 春永 功次郎**

- 研究主題 「未来を見据え生活を工夫し創造する資質・能力を育てる技術・家庭科教育」
- 第1回部会（7月23日 赤池中学校）
- ・組織づくり、年間活動作成
- 授業研修会（9月19日 添田中学校）
- ・授業者 三角 奈央（家庭科）
- ・題材名 衣食住の生活
- 福岡県中学校技術・家庭科研究大会参加

**令和6年度教育論文応募者・入選者紹介**

※職名・所属は令和6年度

**ふくおか教育論文**

川崎町立真崎小学校 教諭 伊藤 匠 （一般の部） 算数・数学 **筑豊奨励賞**  
『数学的な見方・考え方を働かせる児童を育成する算数科学習指導』

- 令和6年度福岡県とびうめ教育表彰式（令和6年12月26日（木）県庁）
- 令和6年度「ふくおか教育論文」表彰式・発表会（令和7年2月13日（木）筑豊教育事務所）

**田川郡教育研究所教育論文**

川崎町立真崎小学校 教諭 伊藤 匠 （一般の部） 算数・数学 **佳作賞**  
『学びを自己調整しながら問題解決力を高め育成する第6学年算数科学習指導』

大任町立大任小学校 教諭 宮本 帆歌 （一般の部） 道徳  
『よりよい生き方を志向する児童を育てる道徳教育の創造』

川崎町立真崎小学校 主幹教諭 奥 拓也 （一般の部） 理科  
『子ども一人ひとりの願いを実現する第6学年理科単元自由進度学習への試み』

川崎町立池尻小学校 教諭 四郎丸 華有 （一般の部） 社会科  
『よりよい社会を形成する人物の営みを通して自分の生き方を創りつづける社会科学習』

川崎町立川崎中学校 教諭 谷川 佑太 （一般の部） 理科  
『科学的な根拠を基に表現できる生徒の育成』

添田町立添田小学校 教諭 神馬 誠吾 （若年の部） 算数・数学  
『主体的に学ぶ子どもを育成する第6学年算数科学習指導』

添田町立添田小学校 教諭 大石 京佳 （若年の部） 算数・数学  
『問題の解決に向けて、見通しをもち筋道を立てて考える力を高める低学年算数科学習指導』

川崎町立真崎小学校 教諭 平澤 翔茉 （若年の部） 算数・数学  
『主体的な学習に取り組む児童を育成する算数科学習指導』

※表彰式 田川郡教育研究所総会（令和7年5月29日（木）赤村住民センター）

# 長期研修等を終えて

## 長期研修（福岡県教育センター）を終えて

大任町立大任中学校 教諭 桑野 善徳

昨年度、福岡県教育センターで長期派遣研修員として、たくさんのことを学ぶことができました。この学びを活かすために、これから教育活動を行っていく中で、以下の二点を心がけていきたいと考えています。

一点目は、主題研修で行ったOPPAを取り入れた「学ぶ意義を実感できる生徒を育成する学習の研究」を継続していくことです。今回の主題研修では生徒の思考を可視化し、生徒の「つまずき」を基に適切な働きかけを行うことができました。しかし、課題として教師が学習過程を調整する中で「相互作用的な調整」が不十分でした。この課題を解決するため、授業中に他者に対して自己の仮説や考察を説明し、他者の考えを聴いてその根拠を批判的に分析する交流活動をあらかじめ想定し、授業を行っていきたいです。さらに、実践を積み重ね、一人でも多くの学ぶ意義を実感する生徒を育成することで、学ぶ楽しさを知り、自ら学び続けることができる生徒を育成していきたいと考えています。

二点目は、修養として学んだ相手意識をもって行動することです。研修前を振り返ると私は自分のことばかり考え、自分本位で行動している部分があったと思います。この一年間を通して、相手意識を持つことで自分自身の視野が広がり、さまざまな価値観や考え方を学ぶことができました。また、相手の気持ちや立場を意識することで、信頼関係が築かれグループ活動において協力しやすい雰囲気づくりができました。このように学んだことを活かして、これからも相手意識をもって行動していきたいです。

最後に、この一年間、たくさんのことを学び、成長できたのは、親身になってご指導して頂いた福岡県教育センターの指導主事の先生方、研修に送り出してくれた教育委員会や所属校の校長先生等、たくさんの方々に支えられたおかげです。感謝の気持ちを忘れず、これからも生徒のために日々成長していけるよう、自己省察を行い、教育活動を行っていきます。



## 長期研修（福岡教育大附属小倉小学校）を終えて

香春町立香春思永館 教諭 伊藤 有紀

昨年度、福岡教育大学附属小倉小学校において国語科の長期派遣研修員として1年間研修させていただきました。主題研究では、書きたいことを明確にして表現する子どもを育てることができるように、書く意欲を喚起・持続・充足する単元構想や表現を練り上げる学習活動における支援の在り方について学ばせていただきました。

研究や日々の授業づくりについて数々のご指導をいただく中で、子どもの実態や発達段階を十分に把握した上で、子どもの思いを基にした単元を構想すること、目指す姿を実際の子どもの発言や記述で具体化することの大切さに気付くことができました。そして、目の前の子どもの表情、つぶやきを見取った上で、子どもの思いに沿った学習を展開していくことを日々の授業を通して学ぶことができました。たくさん悩み、考え続けた1年間でしたが、子どもが学びを楽しむ姿を見ることができた際の喜びも感じることができました。

また、先輩先生方の、何度も確認や準備をして全体の動きを把握し、全員が同じ思いをもって教育活動に臨む姿を見て、相手を意識した仕事の行い方や学校組織の一員としての日々の教育活動への関わり方についても学ぶことができ、自分の理想とする教員像を明確にもつことができました。これから、附属小学校で学んだことを生かし、子どもの思いを大切に学習を、子どもと一緒につくっていくことができるように、そして、学校組織の一員として、学校づくりに参画することができるように、今後も素直に、謙虚に、そして自分を支えてくれる方々への感謝の気持ちを忘れず、学び続けてまいります。そして、先生方からの温かいご指導や、様々な方々とのご縁を大切にしながら、学校や地域に貢献できる人材となれるように努めていきます。

最後に、このような貴重な研修の機会を与えてくださいました関係機関の方々、私の実践に対してあたたかいご指導をいただいた全ての皆様に厚くお礼を申し上げます。1年間、ありがとうございました。



## 令和7年度 教育実践発表会等についてのお知らせ

### ◆筑豊地区教育研究所等連絡協議会教育実践発表会

○日時 令和7年 8月4日(月) 13時50分開会(13:20～受付)

○実践発表者 伊藤 有紀 (香春町立香春思永館)

主題『書きたいことを明確にして表現する第2学年国語科学習指導』

○会場 飯塚市庄内交流センター 〒820-0101 飯塚市綱分771番地

### ◆福岡県教育研究所連盟研究発表協議会

○日時 令和7年11月11日(火) 13時開会

○実践報告者 桑野 善徳 (大任町立大任中学校)

主題『学ぶ意義を実感できる生徒を育成する理科学習の研究』

○会場 福岡県教育センター 〒811-2401 福岡県糟屋郡篠栗町高田268

## 食育だより

添田町立添田小学校 栄養教諭 井手口 裕子  
「令和の米騒動」と言われ、お米への関心が高まっています。そこで給食のお米について説明します。まずは価格についてです。福岡県学校給食会を通じて納入されるお米は、JA全農ふくれん、福岡県学校給食会、そして福岡県から一部助成を受けています。そのため、市販のお米より安価です。とはいえ、前年度より5割以上値上がりしており、給食費を圧迫しているのは間違いありませんが、年度内は安定した価格です。次に品質についてです。給食のお米は福岡県産米の夢つくしや元気つくしの1～2等米で、田川地区で生産されたものです。石抜き機や色彩選別機、金属探知機を備えたとう精工場で精米されるので、異物混入の心配もありません。また、納品前日に精米されたものが届くため、常においしいご飯を提供できます。この機会に子どもたちとお米の話をしてみませんか。



## 養護だより

赤村立赤小学校 養護教諭 富安 未来  
今年度の活動計画では、7月に第1回講演会を川崎町の田中整形外科医院の田中院長先生をお招きし、学校で起こりやすい外傷の手当てについて講演をしていただく予定です。養護教諭は、保健室で外傷の応急処置を行う上で、冷静に適切な手当てを行い児童生徒の命と健康を守って行く使命があります。そのため今一度、学校で必要な救急処置の知識と技能の学びを深めるとともに、危機管理意識の向上を図りたいと考え計画を進めています。また、研修した内容については、自校の他の職員にも共有し、学校全体としての危機管理意識向上にも生かしていきたいと考えています。

田川郡養護部会は、今年度から新編成でスタートしました。今後も引き続き養護教諭間での情報共有や他機関との連携を大切にしながら子どもたちの笑顔のために励んでいきます。



## 田川郡教育研究所

[所在地] 〒825-0002

田川市伊田松原通り 3292-2 田川総合庁舎 筑豊教育事務所田川駐在內

[TEL・FAX] 0947-47-1081

[E-mail] tagawa-lab@fukuoka.email.ne.jp

[URL] http://tagawa-lab.sakura.ne.jp/

所長 長野 修

副所長 藤田 昭介 (糸田小学校 校長)

書記 //

主任指導員 手嶋 圭吾 (大任小学校 教頭)

指導員 鍋藤 秀晃 (上野小学校 主幹教諭)

指導員 福田 和憲 (方城中学校 主幹教諭)

副所長 長畑 理恵 (添田中学校 校長)

幹事 //

主任指導員 西牟田公洋 (香春思永館 教頭)

指導員 中村 真悟 (真崎小学校 主幹教諭)